

議会だより あまぐさ

No.197

平成26年2月1日

発行：愛知県大口町議会



直撃インタビュー 新町長に聞く

2~3

12月議会で決まったこと

4

一般質問 犯罪率県内ワースト2位

住宅への侵入盗

13

議会だよりアンケート結果

21

鈴木雅博町長就任



鈴木雅博（すずきまさひろ） 昭和29年生まれ 59歳
昭和52年 鈴木與七商店入社
平成6年 社団法人 日本青年会議所 副会頭
平成7年 大口町秋田区長
平成8年 鈴木與七商店代表
平成14年 大口南小学校PTA会長
平成25年11月1日 大口町長

議会広報常任委員会では、町政に対する鈴木町長の方針を聞くため、インタビューをしました。穏やかな対談の中に、町長の熱い思いを感じました。

町長に就任され1か月が経過、心境の変化は。

鈴木

土日もほとんどなく、家族と一緒に過ごす時間もない。町長がこんな時間に追われるとは思いませんでした。

体調管理には十分注意していますが、選挙で選ばれたものにとって当然のことだと思ひ頑張っています。

町民の最大の関心は、鈴木新町長に変わり町がどう変わるかだが。

鈴木

予算面や経済状況を考え、可能なことから実行し、行政のトップとして将来の方向性を示せるようにするつもりです。ハード・ソフト両面のケアを第1に考え、準備や予防をしっかりとやっていきたい。町民の皆さんが「ここに住んでいて良かったと思える町づくり」に努力していきます。

健康と人と人とのつながりを大切に

50年先の子どもや孫のために誇れる町づくりを

いつも大切にしている言葉や政治信条は。

鈴木

政治信条は、「飲水思源（いんすいしげん）」。中国では「井戸を掘ってくれた人の恩を忘れない」という意味で使われています。また、大切にしている言葉は、「初志貫徹」、他には「礼には礼で尽くす、やる気、笑顔」などがあります。

歴代の町長と同じように、町の道筋をつけるため、町政のかじ取りをしています。

自治体のリーダーにあって大切なことは。

鈴木

1番大切なことは、「人と人とのつながり」を広げることでしょうね。仕事をやっていくには、多くの人とのつながりが重要になってきます。仕事は1人ではなく、みんなで協力し合っ

「初志貫徹」、他には「礼には礼で尽くす、やる気、笑顔」などがあります。

「50年後のことより任期中に何をすることが大切だ」という声に対しては。

鈴木

今のすばらしい大口町があるのは、50年前の先人の方々の努力の賜物だと思っています。だから、今の子どもが住んで良かったという気持ちになれるよう、その時々

の町民のニーズを第1に考え、50年先の子どもへたすき渡しができるように財政力を上げていきたいと考えています。

時に進行させたいと考えています。公約とは、これから色づけし、可能性を検討しながら形を変えていくものだと考えています。

最初にやりたいことは。

鈴木

人の幸せは健康が1番です。皆さんが病気にかけられないように、死亡率が高いがんの検診など予防医療に力を入れていきます。

子どもたちが集中して勉強ができ、小さい子どもや高齢者の皆さんも安全にのびのび活動し、交流できるような複合施設をつくっていきます。

子どもたちが集中して勉強ができ、小さい子どもや高齢者の皆さんも安全にのびのび活動し、交流できるような複合施設をつくっていきます。

選挙公約の4つの挑戦について、優先順位を交えてお話を。

第1に健康・福祉、第2に教育・育児、第3に環境・産業、第4に安全・安心ですが、同

鈴木

第1に健康・福祉、第2に教育・育児、第3に環境・産業、第4に安全・安心ですが、同

第1に健康・福祉、第2に教育・育児、第3に環境・産業、第4に安全・安心ですが、同

町の未来を担う子どもには、どのように育てほしいか。

鈴木

自分が住んでいる町に誇りを持てる子どもに育ててほしい。

また、健康でのびのび育て、スケールの大きい人になってほしいと思います。

3つの新地域自治組織は、どうあるべきか。

鈴木

町の大切な子どもが1つになって考え行動することが大切で、そのためにこの自治組織があると思います。

また、健康でのびのび育て、スケールの大きい人になってほしいと思います。

住民の皆さんに、お願いしたいことや協力してもらいたいことは。

鈴木

私1人では何もできないので、多くの職員に支えられ生かされて職務を遂行していきます。住んで良かったと思える町を築くために、建設的なご意見をどんどん聞かせていただきたいと思っています。

建設的なご意見をどんどん聞かせていただきたいと思っています。

鈴木まさひろの挑戦

～50年後の大口(未来)づくりを皆様と共に～

安全安心

- ① 明るい生活環境のため、街路灯および防犯灯の増設をします。
- ② 子どもやお年寄りの見守りのため、防犯カメラを設置します。
- ③ 家庭で出来る防犯、防災対策費の補助を拡大します。
- ④ 町内の道路状況を調査し、必要な補修、新設改良を積極的に行い交通事故が起りにくいインフラ整備を行います。

健康福祉

- ① 老人福祉の向上を図り、高齢者の医療費を軽減します。
- ② 福祉タクシーの利用を拡大します。
- ③ 各種がん検診費用の無料化、妊婦および産後の健康診断を無料化します。
- ④ 住民基本健康診断の対象を40歳から35歳以上に拡大します。
- ⑤ 町民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康と長寿」なまちづくりを目指します。
- ⑥ 障がい者自立支援事業を積極的に推進します。

教育育児

- ① 働くお母さんの支援のため、3歳児未満の未就学児の託児所を新設します。
- ② 私立幼稚園就園奨励補助金を増額します。
- ③ 土・日曜日・祝日の保育実施と延長保育を拡大します。
- ④ 小中学校の教育支援のため特別教員を増員します。

環境産業

- ① 循環型社会を目指しゴミ減量と資源化、自然エネルギー等の導入を促進します。
- ② 町内企業と個人宅の省エネルギー対策費用の補助を拡大します。
- ③ 町内事業者の受注促進を目指し、町内雇用を促します。
- ④ 国、県との連携を深め、大口のまちづくりに活かすことができる施策、規制緩和、助成、補助金等を積極的に活用します。
- ⑤ 高齢者の方からお知恵をお借りし、町政発展のために高齢者雇用を促進します。
- ⑥ グローバル社会に対応できる企業人としての人材の育成を支援します。
- ⑦ 世界でも有数の企業がそろう大口町を全国にアピールし魅力あるまちづくりを目指します。

6606万円を増額 一般会計12月補正予算

おもな内容

- 基金管理 4783万円増額
・明日のまちづくり基金積み立て
- 障がい者自立支援 1110万円増額
・障がい児サービスの需要が増加したことにより、支払事務費、利用者負担軽減給付費及び通所給付費などの各費用
- 道路整備 392万円増額
・交差点改良工事に係る用地購入費及び電柱2本分の物件保障費
- 小学校整備 333万円増額
・臨時職員の増員及び社会保険料率の上昇
- 保育園整備 225万円増額
・臨時職員の増員及び社会保険料率の上昇
- 人事管理 180万円増額
・臨時職員の増員及び社会保険料率の上昇

※減額する予算があるため、合計に差異が生じます。

12月定例会は、11月28日より12月17日までの20日間の会期で開催されました。

町提出議案は、学習等共同利用施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正や補正予算など、27議案1諮問が提出されました。

採決の結果、13議案は賛成多数で可決、他の議案は全員賛成で可決しました。そのほか請願1件陳情5件を審議し、請願1件と陳情1件を採択しました。議員提出議案2件が提出され、全員賛成で可決しました。

一般質問では、9議員が町政全般にわたり質問しました。

12月議会で決まったこと

議長あいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様には、平成26年の初春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

一昨年末成立した新政権は「アベノミクス」の3本の矢として、大胆な金融緩和、大規模な財政出動、成長戦略を掲げ、日本経済の再生が図られています。その期待感から、円安、株価の上昇が続いております。しかし、地方は景気回復を実感することができなかつたのではないのでしょうか。

森町長退任を受け、11月に「50年後の大口づくり」を目指す、鈴木町長が誕生しました。さらに12月には、大森副町長が再任され、鈴木・大森体制が発足しました。

鈴木町長には、豊富な企業経験により培われた実績と、幅広い人脈を生かした町政運営が期待されるところであります。

議会では、議会情報や議員活動を発信するとともに、住民の中に入り、その声を聞くなど開かれた議会を目指して議論しているところであります。また、議会の使命と役割を認識し、決意も新たに邁進する所存でございます。

結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

議長 丹羽 勉

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

職員の給与に関する条例の一部改正

問 55歳からは勤務成績が良好でも、昇給が止まると士気が下がるのでは。

答 法的なしぼりはないが、制度として取り組んでいく。

問 国家公務員並みの給与であれば納得できるが、下げるだけ国に準ずるのはどうか。

答 世論もあり、国に準じていく。

学習等共同利用施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

問 さつきヶ丘防災センターを学習等共同利用施設と同じ取り扱いにするのはなぜか。

答 防災センターを公の施設に位置づけ、地域の拠点施設に指定する。

公共用物の管理に関する条例の一部改正

問 公共用物とは。

答 町内の河川、水路、道路を指す。

準用河川の流水占有料等に関する条例の一部改正

問 実績はあるのか。

答 ダムが対象となり、現時点では町にはない。

職員の給与に関する条例の一部改正 (起立多数)

反対討論

吉田 正

国と同じ給料表を使用していないのに、なぜ国に従わなければならないのか。勤務成績が良好な職員であつても昇給させない根拠が分からない。

賛成討論 前田新生
50歳代後半層の官民の給与差を是正するために、標準的な勤務成績では昇給しないこととするものである。人事委員会を置くことができる本町では、国家公務員制度によることが妥当である。



町立保育所設置条例の一部改正



4月から民営化される中保育園

問 保育園というのは、公の施設に当たるのか。

答 町立の保育園は、公の施設に該当する。公の施設の中に、重要な施設や特に重要な施設という区分があるが、町の保育園は位置づけがされていない。

問 民営化が決定した中保育園のその後は。

答 説明会やアンケートを実施した。

問 中保育園の次年度以降の事業は。

答 保育の質が向上するように、緩やかに独自性を発揮するよう期待している。

スポーツ施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部改正

問 使用料と利用料金の使い分けは。

答 公の施設は使用料、指定管理者が管理する施設は利用料金となる。

尾張農業共済事務組合の解散

問 平成26年度から愛知県農業共済組合に組織が変更になるが、町からの選出委員は何人が。

答 総代という形で、町から2人の選出となる。

公共用物の管理に関する条例の一部改正
(起立多数)

反対討論 吉田 正

消費税の増税分を料金に転嫁しないと、行政が運営できない状態なんじゃないか。道路をつくることも河川を改修することもできないのか。



賛成討論 前田新生

消費税率が5パーセントから8パーセントに変更されることに伴い、その趣旨、制度に基づいて使用料(利用料金)の見直しをする。

健康文化センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部改正
(起立多数)

反対討論 江幡瀧世志

指定管理者が代行運営していても、町の施設であることに違いはない。消費税の増税分を利用料金に転嫁するべきではない。



賛成討論 大島保憲

今回の利用料金の改正は、消費税率が5パーセントから8パーセントに変更されることに伴い、現行の利用料金の見直しをする。

**平成25年度
特別会計補正予算**

▼国民健康保険

問 高額療養費保険者追加1400万円の補正で、100万円以上かかる52件の主な病名は。

答 入院で医療費が100万円以上の病名は、3つや4つ重なっているケースもある。主な病名は心疾患、悪性貧血、悪性新生物となっている。

▼社本育英事業

問 施行規則にあるスポーツや文化に功労された方など対象者を拡大しては。

答 寄付者と調整させていただき、事業を発展させていきたい。

**(仮称) さつきヶ丘防災センター
請負契約の変更(全員賛成)**

隣接地との擁壁^{おびへき}仕様の変更、災害用マンホールトイレの口径変更や地盤改良などが生じたことにより、205万650円を追加し請負契約金額が8993万5650円となりました。

賛否の分かれた議案

他の14議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

平成25年12月定例会議案	議 員 名														結 果	
	江幡	吉田	柘植	伊藤	前田	大島	丹羽(孝)	岡	土田	齋木	宮田	酒井	丹羽(勉)	木野		倉知
公共用物の管理に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
道路占用料条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
準用河川の流水占用料等に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
保育所設置条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康文化センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
スポーツ施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温水プールの設置、管理及び運営に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
学校体育施設スポーツ開放に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
学校施設開放に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
野外活動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

町政を問う

9議員が質問

全国学力・学習状況調査

結果を受けての対応策は

教育長 学び合いの活動で学力を高めていく



伊藤 浩

伊藤 全国学力・学習状況調査の目的は、

教育長 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の

成果と課題を検証することとで、教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。

伊藤 今年度、実施された小中学校の学力

調査結果とその対応策は、

教育長 小学校では全国平均と比べ、国

語・算数のすべての問題でやや高い。特に、図形領域や数量関係が高い。

中学校では国語の知識問題でやや低く、活用問題は全国並み。数学の知

「全国学力・学習状況調査」とは

全国の小学6年生と中学3年生を対象。国語と算数・数学の知識と活用の学力テスト及び学習状況に関する調査

識問題で全国並み。活用問題はやや高い。特に、図形や数と式の領域が高い。

各学校では、言語活動を重視した学び合いの活動で、学力を高めている。

伊藤 生活習慣や学習環境などの学習状況

教育長 調査結果とその改善策は、自分の思いをうまく伝えること

ができない児童生徒が多くなるのが分かった。学校では学び合いの活動で、自分の思いや考えを伝えることができるように実践している。

中1ギャップ

解消に向けた取り組みは

主幹 「ワンディ大中生」の実施

伊藤 中1ギャップが起る主な原因と現状は。

学校教育課主幹 主な原因は、小学校とは

違う先輩と後輩という関係の出現、異なった人間関係の再編成、勉強の難易度の上昇、担任から教科担任制への移行などがあげられる。

現状として、1年生になっても欠席が目立ち始めた生徒が若干いる。

伊藤 中1ギャップ解消に向けて、小中学校間で実施していることは。

学校教育課主幹 小学校6年生が1日中

学校で生活する「ワンディ大中生」を体験する活動を行っている。また、小学校の児童や保護者に中学校の授業を参観してもらっている。

「中1ギャップ」とは

中学1年生に進学した際、学習や生活環境の変化になじめず、学級不適應などになったり、いじめが増加する現象

子ども子育て新システム

落ちついた保育が維持できるのか

部長 今後の国の動向を注視していく

吉田

保育制度は、子ども子育て新システムに移行されようとしている。預けられる時間が父母の労働時間や家庭によつて異なり、落ちついた保育が維持できるのか。

健康福祉部長

社会で活躍する保護者も多くなり、延長保育の利用者が増えている。延長保育は、保育園の使命

く、同じ環境で保育をする中で利用時間帯が異なるものと認識している。まだ方針案の段階なので、今後の国の動向を注視していく。

吉田

延長保育の現状が妥当なものか。

健康福祉部長

地域に必要な保育施設として欠かせない事業であると認識している。

や地域に必要な保育施設として欠かせない事業であると認識している。

健康福祉部長

国から示された方針案は、「保育標準時間利用」は11時間、「保育短時間利用」は8時間とするこ

となつている。2つを分けて保育するのではな



吉田 正



延長保育の様子

新ごみ処理施設整備事業

計画を国に提出できる環境になるのか

部長 地域住民や議会の理解を得た時に提出できる

吉田

二市二町ブロック会議は、大変紛糾したと聞いているが、循環型社会形成推進地域計画を国に提出できる環境になるのか。

地域協働部長

国の循環型社会形成推進交付金制度は、平成26年度以降に縮小されることから、江南市から地域計画を年度内に作成し、交付金申請をしたいと提案された。しかし、施設整備基本計画や施設の立地場所も定まっていない中、地域計画は提出できないと考えている。今後、地域住民や議会の理解を得られた時点で提出できるものと考えている。

地域住民や議会の理解を得られた時点で提出できるものと考えている。

【その他の質問】

- 問 学童保育は6年生まで受け入れよ
- 問 巡回バスを江南厚生病院へ走らせよ
- 問 消費税の増税に反対しなさい

「循環型社会形成推進地域計画」とは

対象地域の処理システムの基本的な方向性や整備する施設の種類、規模などの概要を見通して作成するもの



宮田和美

障がい者支援

力を入れている支援は

部長 相談支援に力を入れている

ど数多くのメニューがあり、一人ひとりのニーズに合った使いやすいものになるよう、障がい者相談支援に力を入れている。

富田 スタンプカードの報奨金3000円

を見直し、手厚い行政としてこうした人たちに手を差し伸べるべきと思う。1級から4級までの認定額は。

健康福祉部長 町単独事業として、福祉手当を支給している。

施設入所者や課税所得金額の額が360万4000円を超える方を除き、障害者手帳所持者の1級または2級の方に月額5000円、3級及びぼつこう、または直腸機能障害の4級までの方に月額4000円を支給している。

健康福祉部長 身体障がい者福祉制度には、サービスや給付な

富田 障がい者の方に対して、特に力を入れている支援は。

健康福祉部長 平成25年12月1日現在の所持者数は、1級171人、2級106人、3級143人、4級161人、5級53人、6級39人の合計673人となる。

スタンプカード

制度の見直しは

部長 今しばらく継続する

富田 スタンプカードの72ポイントで3000円の報奨金や10ポイントごとに景品がで

る。このスタンプ制度の見直しの時期がきていると思うがどうか。

地域協働部長 この制度は、資源ごみの分別意識の醸成にも寄与しているので、今しばらく継続する中で検証していく。

富田 リサイクルセンター出入り口の門が9時にならないと開かない。交通渋滞や自転車などの通行の妨げにもなり、9時前に開門すべきではないか。

地域協働部長 安全面を考慮し既に対応している。



スタンプカード

【その他の質問】

- 問 可燃ごみ減量について
- 問 民生委員の公務について

乳がん検診

希望があれば毎年受診できないか

部長 受けやすい環境を検討していく

柘植 女性特有のがん死亡率減少に向け、無料クーポン券が配布されている。国は、来年度から無料クーポン券を減らす方向にある。このまま継続してほしいが。

健康福祉部長 国の無料クーポン券の配布は、今年で5年が経過し、受診対象者への配布が一巡したことで、平成26年度から子宮頸がんは20歳、乳がんは40歳の方が対象となる。本町は、

柘植 子宮頸がんは40歳の方にも、無料クーポン券と啓発冊子を配布していく。

健康福祉部長 乳がん検診は2年に1回、エコー、マンモグラフィー、触診での検診が実施されている。40歳以上の方のエコー検診は毎年が望ましい。希望があれば毎年受診できないか。

健康福祉部長 乳がん検診の受けやすい環境を検討していく。

柘植 胃がん発症予防のため、住民検診項目にピロリ菌検査を追加しては。

健康福祉部長 26年度から健康調査のメニューに追加していく。

柘植 高齢者の肺炎は死因の第3位。肺炎球菌ワクチンの接種者数と接種率の向上対策は。

健康福祉部長 接種者数は、25年10月現在で33人、そのうち半額助成者は30人、全額助成者は3人。接種率の向上に向け、ワクチン接種の周知に努めていく。



柘植 満

一般質問 柘植 満

新しい図書館の建設は

部長 利用者から意見を聞き、調査・研究していく



図書館の内部

柘植 これからの地域の交流、子育てや文化の拠点として、新しい図書館の建設をどのように考えているか。

生涯教育部長 35年目を迎える図書館は、面積が狭く蔵書数が増やせない、学習スペースも不十分である。また、中央公民館3階にあって障がい者や高齢者に利用しづらいなど、施設の利便性に問題がある。図書館は、あらゆる世代の人々が気軽に利用でき、「心の豊かさ」や「生きがい」を育む重要な施設である。図書館の建設にあたっては利用者から意見を聞き、調査・研究をしていく。

【その他の質問】
問 高齢社会における施策について

国道41号

6車線化に伴う都市計画構想は

部長 都市計画マスタープランに沿って検討していく



大島 保憲

建設部長

市街化区域では、流通機能の優

位性を生かし、周辺地域との調和と生産機能の維持を図る。市街化調整区域では、市街化区域への編入や地区計画の導入など「都市計画マスタープラン」に沿って検討していくとともに、都市計画道路の見直しを考えていく。国道41号の6車線化の整備促進と名濃道路の延伸実現に向け、関係機関に積極的に要望していく。

大島

国道41号の交通渋滞を解消する6車線化が本格的に始まる。聞いたが、その計画は。

建設部長

小牧市村中交差点から犬山市五郎丸交差点までの7キロメートルを6車線化し、渋滞の緩和を図る。

大島

6車線化による整備効果が顕著な本町において、沿線を含む都市計画構想を検討していく必要があると思うかどうか。また、名濃道路の建設要望促進の取り組みは。

「名濃道路」とは

名古屋第二環状自動車道桶JCTから岐阜県美濃加茂市に計画された自動車専用道路

私道の整備に補助制度を

部長 補助はしない

大島

宅地分譲でつくられた町道認定されない行き止まり道路をなくすため、町の宅地開発指導要綱の強化が図れないか。

建設部長

県の基準でも認められているため、民間の開発事業を制限することや禁止することはできない。

大島

町道に個人の所有権が残っている土地の買い取りを考えてはどうか。また、私道整備のための補助制度を検討できないか。

建設部長

所有権者が第二者であっても、道路として利用することに承諾を得られていると考えられることから、寄附採納をお願いしている。

私道の維持補修は、購入時に具体的な取り決めがなされているので、所有者が管理すべきと考え、補助はしない。

大島

私道でも、危険箇所にはカーブミラーの設置を検討できないか。

建設部長

私道を利用している住宅が5戸以上かつ私道幅員が4メートル以上で道路側溝・舗装が整備されているなどの基準を満たせば設置する。



宅地分譲でつくられた行き止まり道路(下小口七丁目地内)

住宅を対象とした侵入盗の犯罪率

県内ワースト2位をどう考える

部長 地理的条件が犯行後の逃走に好都合

岡 住宅への侵入盗の件数は愛知県が6年連続全国ワースト1位。その中であって本町の犯罪率は上半期暫定値では昨年ワースト1位、今年もワースト2位。本町の犯罪率が高い理由。

岡 条件が、犯行後の逃走に都合が良かったためではと江南警察署から聞いている。

岡 これらの悪しき結果を、認識していたか。認識していたのなら、住民への周知や対策等は十分であったか。

岡 これらの悪しき結果の設置や防犯対策補助金のあり方を見直すなど、対策強化に取り組むべきでは。

地域協働部長 防犯カメラの有用性とプライバシーの保護との調和を図るとともに、江南警察署や地域と協議しながら、設置を進めていく。地域との協働や防犯対策補助金のPRをしながら、対策強化を進めた

地域協働部長 認識している。毎月の区長会で啓発チラシを配布し、地区掲示板への掲



岡 孝夫

リフレッシュリゾート施設利用助成制度

高山・伊勢志摩など新たな地域の追加は 部長 地域を広げる前提で検討していく

岡 リフレッシュリゾート施設利用助成制度の利用者の推移は。左表のとおり。

生涯教育部長 企業にとって有用な情報は広報紙・ホームページで積極的にお知らせしていくが、この制度は企業の福利厚生担当部署・労働組合など、企業側にお知らせできる方法を検討していく。

生涯教育部長 現在、犬山・昼神・下呂・日間賀島の施設が利用できるが、一部の地域で利用者の減少傾向がみられる。高山・伊勢志摩など、新たな地域を追加する考えはないか。

年度	利用者数 ()内は日帰り						
	犬山	昼神	下呂	日間賀島			
19	42 (753)	475 (27)	518 (23)	739 (34)			
20	72 (638)	427 (34)	503 (35)	562 (63)			
21	52 (814)	386 (46)	474 (26)	542 (13)			
22	141 (649)	367 (26)	418 (25)	540 (46)			
23	123 (739)	432 (65)	452 (56)	488 (26)			
24	138 (728)	448 (79)	517 (30)	456 (15)			

岡 この制度は町内の企業等に20年以上在勤中の方も利用できるが、過去6年間の利用率は住民の方の12パーセントと比べ、1パーセントにも

生涯教育部長 一部だが後療制度の助成施設の利用準備を進めている。また、利用できる地域を広げていくことを前提として検討していく。



前田 新生

次期総合計画は策定するのか

部長 作成を要しないという考えは持っていない

前田 地方自治法の改正で総合計画策定の義務づけが廃止されたが、町は第7次総合計画を策定するのか。

総務部長 本町の総合計画をどう考えるのか、それらを何らかの形で条例などに定める必要があるのではなどの検討を始めたところである。現段階において策定の義務づけがなくなったからといって、総合計画の作成を要しないという考え方は持っていない。



第6次大口町総合計画

前田 第6次総合計画では具体的な目標や施策を設定することは現実的ではないとして、成果目標を示していない。将来のまちの姿をイメージできない計画であるが、町長はこれをどう評価するのか。

町長 まちの最上位計画画は、歴代の町長が取り組まれた理念や視点による表現法を引き継ぎたい。具体的な施策は個別計画で表現し、迅速に実現するよう取り組みながら見直しを重ねていく。

前田 町民体育祭、消防団など、ほとんどの行事・組織が行政区単位で運営されているが、今後も同じようにしているのか。

地域協働部長 行政区は、関係のつながりで行われていることから、行政

前田 まちづくり基本条例に基づき地域自治組織が3地域にできたが、区長設置規則で定める従来からの行政区のあり方を聞きたい。各行政区への世帯加入率はどうか。

地域協働部長 各行政区が把握している世帯数は、それぞれの基準によるもので、正確には把握できていない。



行政区の活動の様子

区単位での依頼などにつながっている。行政区で行っていただくことが1番良いと思われるものは、今までどおりお願いしていく。

前田 行政区の活動をもつと後押しして活用するべきであるが、今後どう指導していくのか。

地域協働部長 何でも行政区へお願いするのはなく、両方の良いところを持ち寄って知恵を出し合い、行政区、地域自治組織や町が連携して、より効率的かつ互助の精神を持った新たな地域自治の形をつくり上げていく。

行政区への後押しは 新たな地域自治の形をつくり上げていく

町道布袋小牧線

拡幅計画に変更はないか

部長 方針に変更はない

吉 大之瀬橋が架け替
えられ7年が経過
する。鈴木新町長になり、
道路拡幅計画に変更はな
いか。

吉 14人の地権者宅に
訪問して意見聴取
することになっていたが、
その結果は。

吉 地元説明会の開催
や今後の進め方は。
今後、戸別訪
問を進めていく。

建設部長 歩行者の安全
を確保するため、
歩道幅員は1・5メートル
以上を確保、車道は交
通量を増加させない整備
方法を考えていく方針に
変更はない。

建設部長 2人の地権者
から、拡幅に
あたって必要となる家屋
移転などの補償、要望や
条件をお聞きすることが
できた。

建設部長 実現性の高い道路拡幅計
画の策定ができれば、改
めて説明会を開催する。



土田 進



広い大之瀬橋からみた東側の狭い道路

幼児・児童対象のスポーツ事業

各小学校で運動部活動に取り組んでは

部長 下校時間などから困難

吉 授業終了後、各小
学校で運動部活動
に取り組むことはできな
いか。

生涯教育部長 カリキュラ
ム範囲外で
の活動になると、指導者
の時間帯や下校時間などの
面から困難と考える。

吉 ウイル大ロスポー
ツクラブが行う講
座は、キャンセル待ちが
出るほど評判が良い。町
外利用者が多いので、町
内利用者が優先的に申し
込みできるようにできな
いか。

生涯教育部長 キャンセル
待ちが出る
教室は、申し込みの段階
で町内の方を優先できる
期間を設けて受付けてい
る。

吉 今後の幼児・児童
を対象としたスポ
ーツ振興策は。
いつでもス
ポーツがで
きる場所や体験の機会の
提供と幅広い年齢層や多
様なニーズへの対応と考
える。

生涯教育部長 いつでもス
ポーツがで
きる場所や体験の機会の
提供と幅広い年齢層や多
様なニーズへの対応と考
える。

吉 ウイル大ロスポー
ツクラブが行う講
座は、キャンセル待ちが
出るほど評判が良い。町
外利用者が多いので、町
内利用者が優先的に申し
込みできるようにできな
いか。



ウイル大ロススポーツクラブが行う幼児体操教室



江幡満世志

資産割10/100、
(応益割)

均等割35/100、

平等割15/100

の4課税方式を採用している。3方式で賦課することになれば、給付と負担のバランスを確保するため、所得割を見直すことになる。

江幡 今回は保険制度の改善を求める。国庫負担金の増額を求める必要があるのでは。

健康福祉部長 国は「社会保険・税一体改革大綱」で、平成26年度に低所得者の保険税軽減の拡充に公費を投入する方針が打ち出された。本町としては、国の動向を注視していく。

江幡 資産割を廃止して、3方式にて賦課するように改定できないか。

健康福祉部長

国民健康保険事業を運営するため、

(応能割)

所得割40/100、

【その他の質問】

問 住宅リフォーム助成制度を創設せよ

中小企業経営支援

縮小した支援策を元に戻せ

副町長 縮小とは考えていない

江幡 縮小した支援策を元に戻すことはできないのか。

副町長 平成20年12月から、ちは、リーマンショックによる緊急経済対策で事業者救済のため、2年間の臨時的措置として、3500万円までの借り入れに対し、100パーセントの保証料補助をしている。恒久的制度として位置づけるための改正で、縮小とは考えていない。

江幡 小規模事業者登録制度への登録業者を積極的に増やすよう周知したり、商工会とのタイアップなどではないか。

副町長 町ホームページに記事を掲載し

ている。また、広報1月号には、登録制度を周知する記事を予定している。

登録制度は、商工会と町の行政課が窓口になっているので、これまでと同様、商工会と連携して進めていく。



事業者向けのパンフレット

請願・陳情

12月定例会に提出された1つの請願と5つの陳情は、所管の常任委員会で審査しました。その後の本会議で採択された1つの請願と1つの陳情は、国の機関などへ議会から意見書を送付しました。

【請願】

請願者
愛知県社会保障推進協

議会

議長 森谷光夫

・介護保険要支援者への保険給付継続のため、国に意見書提出を求める請願書

(全員賛成で採択)

【陳情】

陳情者

愛知自治体キヤラバン

実行委員会

代表者 森谷光夫

・介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

(聞きおく)

陳情者

大口町商工会

会長 宮地計年他2人

・商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充

(全員賛成で採択)

陳情者

愛知県医療介護福祉労

働組合連合会

執行委員長 西野ルミ子

・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書

(聞きおく)

・介護職員の処遇改善を求める陳情書

(全員賛成で採択)

・医師・看護師・介護職員の確保に影響を及ぼす、2014年4月からの消費税増税の実施中止を求める陳情書

(聞きおく)

【議員提出議案】

・介護保険要支援者への保険給付の継続を求める意見書

提出者

大島保憲

(全員賛成で可決)

・介護職員の処遇改善を求める意見書

提出者

大島保憲

(全員賛成で可決)

議会広報の視察相次ぐ



来庁者との意見交換の様子

来庁日	市町議会名	人数
5/20(月)	千葉県袖ヶ浦市	14人
10/ 2(水)	鳥取県湯梨浜町	6人
10/21(月)	滋賀県高島市	7人
10/30(水)	茨城県日立市	9人
11/11(月)	神奈川県葉山町	7人
11/18(月)	大阪府寝屋川市	7人
1/27(月)	大阪府柏原市	5人
計	7団体	55人

町村議会広報全国コンクールにて過去8回受賞した経緯から、平成25年度は7団体の視察がありました。

いずれの団体も、住民への分かりやすい紙づくりを目指すため、本町の取り組み状況を聞くためのものでした。

研修では、本町の編集方針や編集上で工夫していること、さらには発行経費などについて、意見交換しました。

こうした視察の機会には本町にとっても、絶好の研修の機会であると考え、相互に研修しました。

毎年東京で開催される町村議会広報研修会に参加していましたが、平成25年度は最優秀賞や優秀賞を受賞されている2つの議会を訪問しました。

山梨県昭和町「議会だよりしゅうわ」

住民が知りたいことを掲載

11/5
(火)

3つの編集方針

特集記事を重視

「議会だよりしゅうわ」は、住民が読むものであることを念頭に置き、読みやすく、分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指して、以下3つの編集方針に沿って作成されています。

- ①住民の提言を取り入れ、親しみのある広報に編集する。
- ②公平かつ中立な立場で、客観的に編集する。
- ③住民が知りたいことを掲載する。

住民登場企画や住民の関心が高い特集記事を大切にし、大きく掲載していました。

また、全ページにわた

って余白が十分に取ってあり、インパクトのある見出しや文字も大きく、読みやすいと思いました。



昭和町議会にて

11/6
(水)

愛知県幸田町「こうた 議会だより」 全ページカラー

4つの工夫

「こうた 議会だより」は、全ページがカラー印刷で読みやすく、見出しの色使いや大きさも良く考えてあり、掲載の写真も大きく、とても鮮明でした。

また、住民に読んでもらうために、以下4つの工夫がされています。

- ①余白を多く取り、ゆったりとした紙面づくり。
- ②表紙の写真は人物中心に動きがあるもの。
- ③文章は分かりやすく、見出しは簡潔にインパクトのあるもの。
- ④住民参加の紙面づくり。

住民に伝えるために

写真や資料は見やすく分かりやすいし、質問や答弁も短文で読みやすく、住民に良く伝わると思いました。

【感想】

どちらの議会も、町村議会広報全国コンクールで、最優秀賞や優秀賞を受賞され、他の自治体から学ぶ姿勢を大切にし、常に改善に心がけてみえました。当委員会も、視察で学んだことを進んで取り入れていきたいと思

(伊藤 浩)



こうた 議会だより

議会基本条例の策定を目指し2つの議会を訪問

11/18
(月)

議会報告書を義務づけ

三重県伊賀市議会



伊賀市議会にて

平成16年に合併

毎年全地区で報告

伊賀市は、平成16年に6町村との合併をきっかけに、住民の声が行政に届きにくくなるなどの問題から議会改革に取り組みました。18年からタウンミーティングを行いながら、19年2月に議会基本条例を策定しています。この条例の中に、議会報告書を義務づけています。

24人の議員が6つの班に分かれ、毎年全39地区で議会報告会を行っています。この報告会では、住民から寄せられる意見を聞くことも目的となっています。地域の問題を議会でも共有できるように報告会終了後に班長会議が行われ、重要な問題は、議長を通じて市長に報告されています。

11/19
(火)

幅広く市民と意見交換 岐阜県高山市議会

合併により日本一の市域

高山市は、平成17年に9町村と合併し日本一の市域となりました。合併特例の解消により議員定数を36人から30人以下に削減が必要となりました。広大な市域で定数削減により地域の声が届きにくくなる、市民から議会活動が見えにくいなどの意見もあり21年に議会改革特別委員会を設置し23年5月から施行されました。

市民との意見交換会

市民からの声を聞くため24人の議員が4つの班に分かれ、19小学校区で意見交換会を行っています。

地域別の意見交換会に加え、市民団体などとの分野別の意見交換会も実施し幅広く市民からの意見を聞いています。これらの意見を各常任委員会で調査、自由討議によりまとめます。議員全員による政策討論会で全体合意されたものを市長に提示しています。なお政策討論会はTV放送で公開しています。

【感想】

どちらの議会も市民との対話を重視され、議会基本条例策定後も議会として市民との意見交換を長年にわたって実施されていることが特徴です。

本町議会も住民との意見交換を行い、地域の課題を一緒に考えていくことで住民から見える議会としていくことが課題です。住民の皆さんの意見を聞きながら、議会基本条例を策定していきます。

(吉田 正)

委員の紹介



人権擁護委員（再任）
安藤亮子さん
（全員賛成）

人権擁護委員の任期が平成26年6月30日で満了となることに伴い、同氏の再任の推薦をするため意見を求められたので、議会は町の推薦どおり適任としました。
任期は3年です。

副町長を再任

気持ち新たに「初心を忘れず」



大口町副町長（再任）
大森 滋
（全員賛成）

大口町副町長の任期が平成25年12月8日で満了となることに伴い、同氏の再任の同意を求められたので、議会は町の選任どおり適任としました。
任期は4年です。

12月6日、大口中学校で平成25年度学校給食試食会が行われ、文教福祉常任委員会と、町長以下町関係者が参加しました。



この日のメニューは、黒米入りご飯、牛乳、とりすき、白身魚と大豆のごまがらめ、ブロッコリーのツナあえ 805キロカロリー。1食当たり130円（町が半額を負担）

ごちそうさまでした！ 明るく開放的なランチルーム



笑顔があれ給食時間＝大口中学校

この日は大口町産の食材として黒米・白米・大豆・ブロッコリーが使われているとのこと。地産地消の取り組みが進められています。

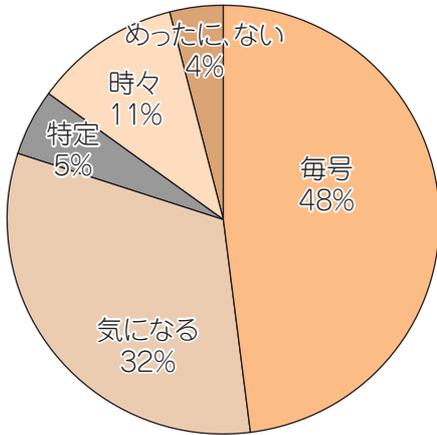
今回の試食は大中の特色の一つであるランチルームで行われ、この日、私たちが迎えてくれたのは1年生から3年生のBブロックの生徒たちです。給食後は、合唱コンクールに向けて練習中の「ありがとう（ファンキーモンキーベイビーズ）」を披露してくれました。

（岡 孝大）

議会だより

アンケート結果

11月2日(土)のふれあいまつりで、「議会だより」のアンケートを実施しました。300名の方にご協力いただき、ありがとうございました。その結果を報告します。



読み方

Point① どれくらい読まれているのか?

全体的に見ると、「毎号読む」、「気になるページを読む」、「特定のページを読む」、「時々読む」と答えた方が合わせて96%を占めています。

【読んでいない理由】

・議会に興味がない ・内容が分からない ・配布されていない

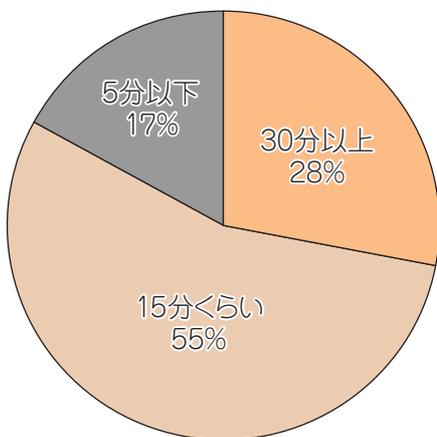
また年齢別では、若年層にあまり読まれておらず、60歳以上の層ではおおむね読まれているという結果でした。

年齢別	～20歳	21～40歳	41～60歳	61～80歳	81歳以上
年齢別人数	4	45	56	188	7
回答数	0	12	22	104	6
比率(%)	0.0	26.6	39.2	55.3	85.7

毎号全て読む

年齢別	～20歳	21～40歳	41～60歳	61～80歳	81歳以上
年齢別人数	4	45	56	188	7
回答数	3	5	9	17	0
比率(%)	75.0	11.1	16.0	9.0	0.0

時々読む



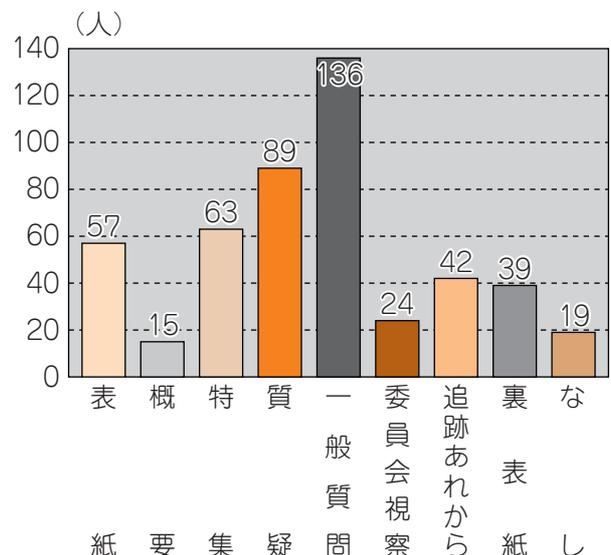
読む時間

Point② 読む時間は?

読む時間は、15分以上の方が83%を占めています。

Point③ 興味のある記事は?

「一般質問」と答えた方がもっとも多く、次いで「質疑」、「特集」の順になっています。



■広報常任委員より

アンケート結果から、もっと分かりやすく、もっと記事の内容を詳しくといった要望をいただきました。

今後も、より分かりやすく、興味を持って読んでいただける紙面づくりを目指してまいります。

まちの 元気者

設立から50年!

漬物用の「かりもり」を生産する
大口漬瓜部会 の皆さんの活躍を紹介します。

♪ 会の歴史は?

昭和38年に大和屋守口漬総本家(株)(漬物製造・販売)の工場が町内にできたのがきっかけで、かりもりの生産が始まりました。翌39年に漬瓜部会が発足し、50年経ちました。

♪ 会員数と会員構成は?

専業農家15人、兼業農家5人の20人で、平均年齢は68歳です。

♪ 生産時期と出荷量は?

5月に種まき、6月に植え付け、8月に出荷します。平成25年度の出荷量は25トンです。

♪ 生産のポイントは?

梅雨から真夏にかけての作業が1番大変です。病気にかかり易いので、毎日の手入れが必要となります。

部会では皮が薄く、肉厚で品質の良いものを出荷できるように研究を重ねています。

♪ 町や議会への要望がありましたら

農業振興のために助成をお願いします。



会長の仙田勝啓さん



会員の皆さん

取材を終えて

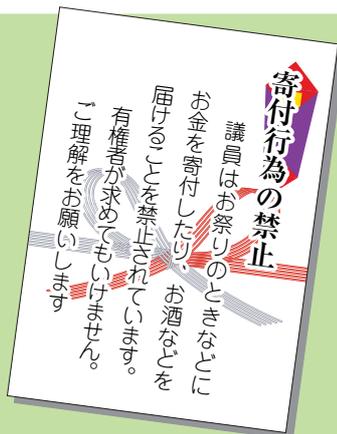
「かりもり」の栽培には豊富な経験が必要です。品質確保に取り組む、皆さんの前向きな姿に感銘しました。ますますの発展を期待します。
(江幡満世志)

表紙の写真

保育園の生活発表会。園児も親も共に熱くなる日です。年長児のすばらしい演技にお父さんもお母さんも感動で胸がいっぱいでした。

= 12月7日 北保育園で

発行責任者 議長 丹羽 勉
議会広報常任委員会 委員長 伊藤 孝浩
副委員長 丹羽 藤孝
委員 前田 江幡 満世志
土岡 孝進



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/gikai/kaigiroku.html>



みなさん議会傍聴に 来てください

3月定例会予定

3月 4日(月) 提案説明
3月 7日(金) 質疑
3月10日(月) 質疑・委員会付託
3月12日(水) 総務建設常任委員会
3月13日(木) 文教福祉常任委員会
3月17日(月) 一般質問
3月18日(火) 一般質問
3月19日(水) 一般質問
3月25日(火) 討論・採決

手続きは簡単です!
役場3階で住所と名前を書くだけ